

— No. 346 —



広報

川越

■発行所 川越市役所

■電話 川越 (0492) 24-8811代

■発行人 川越市長 加藤瀧二

■編集 企画部企画課

11月10日



お年寄りに常備薬をプレゼント
川越市薬剤師会

十月十七日、川越市薬剤師会（松本勝輔会長）では、薬と健康の週間にちなんで、川越老人ホームのお年寄りに常備薬をプレゼントしました。これは、同会が昨年もプレゼントしたところ、たいへん好評だったので、今年はあらかじめ、お年寄りの希望を聞き、希望の多かった、肩こりのはり薬、などの薬、消化剤、老人性白内障用目薬などをプレゼントしたものです。

お年寄りたちは大喜び、さっそく肩や足にはつてもらいうれしそうでした。



共済農協連が救急車寄贈

川越地区消防組合へ

このほど、埼玉県共済農業協同組合連合会から川越地区消防組合へ救急車が一台寄贈され、高階分署へ配置されます。

なお、10月15日には川島分署へも救急車を配置しましたので、全署（川越消防署、新宿霞ヶ関、高階、川島各分署）へ救急車が配置されることになり、救急活動が迅速に行えるようになります。



留学生と交歓会

国際交流青年集会

10月21日、中央公民館で、国際交流青年集会が行われました。参加したのは、国際商科大学との交換留学生として来日中の米国ウイラメット大学生、ビル・ウィリアムスさんら8人で、川越の勤労青少年と会食や民踊、お茶会、フォークダンスなどで楽しい一日を過しました。



(3)

川越の歴史

を搜した。すると波の間に黒い部分が見えたので、行ってみると全部大きくなっていると、仏神の加護がある（蛇）だった。たちまち体

中蛇にまきつかれて苦しんだ。ついでへびを取りました。そのうちに流路が大きく変りました。利根川も荒川も同じです。現在のような堅固な堤防ができた。急いでへびを取りました。こうしたこと

を聞くにつけても汚れたこの世の中を厭い、発心して仏道修業をつんでおけばこうした苦しみに会はないですね。なんだもの。

以上です。入間川は昔からしばしば大洪水に見舞われました。そのうちこの川のように平野を流れれる川は、時代によって流路が大きく変りました。

利根川も荒川も同じです。

おいた物も全部流されてしまった。こうしたこと

入間川大洪水の記事

鴨長明の発心集に

たびに水の勢いによって土質や地面の高低の関係で流路が変つたり二本に別れることがたびたびありました。赤間川は入間川のものと水路が交差する川は、時代によって流路が大きく変りました。利根川も荒川も同じです。現在のよう堅固な堤防が作られた。ある年強い五月雨にあって入間川がどんどん増水し、夜半過ぎ数の在宅を田や畑にして多い家を住ませて耕作させていました。ある年強い五月雨にあって入間川がどんどん増水し、夜半過ぎとうとう決壊してしまった。たちまち男女の悲鳴や子どもたちの泣き叫ぶ声が聞えたが、どうすることができなかつた。彼は屋根へ登り、さらに水中に飛び込んで浅瀬

内容は「入間川洪水の事」という見出しで、次

のようないます。

武蔵國入間川のほとりに官首と

いう男がいた。彼は大きな堤防を築いてその内側を田や畑にして多

数の在宅を住ませて耕作させてい

ました。ある年強い五月雨にあって入

間川がどんどん増水し、夜半過ぎ

とうとう決壊してしまった。たち

まち男女の悲鳴や子どもたちの泣

き叫ぶ声が聞えたが、どうするこ

ともできなかつた。彼は屋根へ登

り、さらに水中に飛び込んで浅瀬

がいい時代には、洪水の

たびに水の勢いによって土質や地

面の高低の関係で流路が変つたり

二本に別れることがたびたびあり

ました。赤間川は入間川のものと水路が

たびに水の勢いによって土質や地

面の高低の関係で流路が変つたり

二本に別れることがたびたびあり

